

2026年度 高松市陸上競技選手権大会 競技注意事項

1 競技規則について

本大会は、2026年度日本陸上競技連盟競技規則により行い、同連盟広告規定を適用する。
また、本大会申し合わせ事項により実施する。

2 ID（カード）コントロールについて

- (1) 競技場内に入場出来るのは、競技者・審判員・本協会が認める者に限る。但し、個人でエントリーをしている小学生の保護者に関しては、引率という立場で1名のみ認め、『コーチ用IDカード（グリーン）』を配布する。また、小学生対象のクラブチームについては、最大で『コーチ用IDカード（グリーン）』を3～5枚配布する。競技場入場の際には、屋島レクザムフィールド利用規則を遵守すること。
- (2) 配布された『コーチ用IDカード（グリーン）』については、大会中は提示しておくようにしてください。大会終了後には、返却をお願いします。『IDカード』の紛失を防ぐために、1,000円を預からせていただきます。
- (3) 競技者の本大会中の控え場所は、メインスタンドとバックスタンドのみとする。（トイレの使用はスタンド2Fのみ）
- (4) 本大会申し合わせ事項で協議された内容を遵守すること。

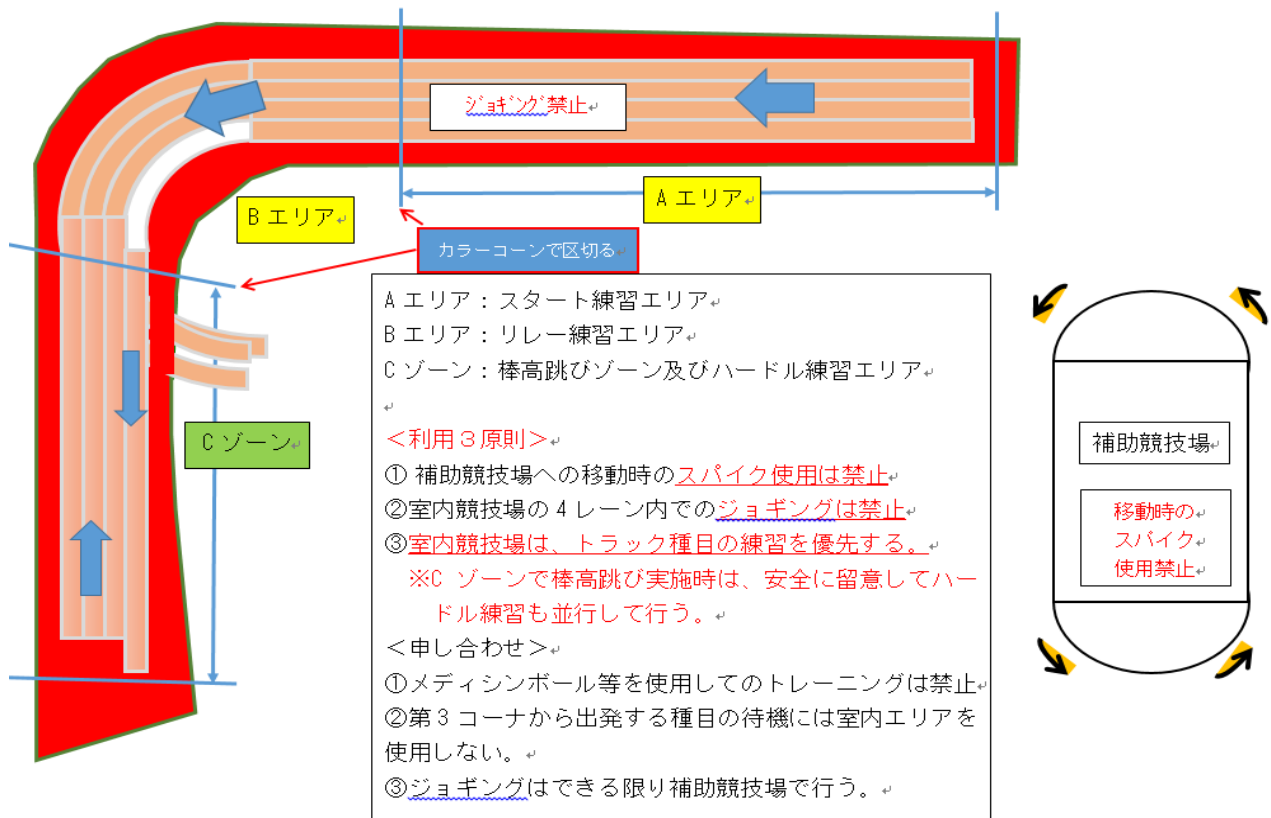
3 オープン選手について

- (1) トラック競技に関しては、予選ラウンドが行われる場合は予選ラウンドのみ、決勝レースのみの場合は、そのレースのみとする。
- (2) フィールド競技に関しては、3回の試技のみとする。

4 練習について

- (1) 下図の【大会時の補助競技場・室内競技場の利用の仕方】に従い、その日に競技が行われる種目の練習を審判員の指示に従い、安全に留意して行うこと。
- (2) 室内競技場に関しては、第2コーナー（1500mスタート）から第3コーナー（200mスタート）方向へ走行すること。
- (3) 補助競技場での投てき練習は禁止とする。また、室内競技場でのフィールド種目の練習は、室内走路設定種目と重ならない場合のみ、練習を行うことが出来る。よって、フィールド種目の練習は、競技開始60分前から主競技場で審判員の指示に従い練習することができる。

【大会時の補助競技場・室内競技場の利用の仕方】



5 競技者の招集について

- (1) 招集場所は、トラック種目については、第2ゲート外側の招集所で、フィールド種目については、それぞれの競技場所で行う。
- (2) 招集完了時刻は、トラック競技は15分前、フィールド競技は、競技場所で30分前とする。
- (3) 競技者は、それぞれの招集場所で待機し、最終チェックを受ける。
- (4) 棒高跳に限り各自で入場し、招集完了時刻に競技場所で最終チェックを受ける。
- (5) 招集完了時刻に遅刻した競技者は、当該競技種目を棄権したものとみなす。
- (6) リレー種目に出場しているチームの中で、エントリー時点でオーダー入力が出来ていないチームの代表者は、大会2日目の午前9時までに、受付にある所定の用紙に、エントリーオーダーを記入して提出すること。その後、「リレーオーダー用紙」を、招集完了時刻の1時間前までに招集所に提出すること。
- (7) 2種目以上を同時刻に兼ねて出場する競技者は、競技開始前に「2種目同時出場」を招集所に提出すること。
- (8) 競技を棄権する場合は、「棄権届」を招集所に提出すること。

6 競技場内への入場について

競技場への入退場は、全て審判員の指示に従い、競技者以外は競技場内に立ち入ることはできない。

7 アスリートビブスについて

- (1) 大きさは、横24cm以内、縦16cm以内とする。また、文字の高さは6cm～10cmで、読みやすいものとする。
- (2) 本年度の所属都道府県陸上競技協会へ登録したナンバーを使用し、必ずユニフォームの胸と背に確実に付ける。ただし、跳躍競技に出場する競技者は、胸または背のいずれかだけでよい。
- (3) トラック競技の800m以上の種目においては、順位確定のために主催者の用意したシールタイプの腰ナンバーカードをランニングパンツ（スパッツ）の右横に付ける。

8 走路順と試技順について

- (1) 予選におけるトラック競技の走路順、フィールド競技の試技順は、プログラム記載の順とする。
- (2) 「2種目同時出場届」を提出している競技者で、事情やむを得ないと判断した場合に限り、フィールド競技のみについて競技順を変更して出場させることがある。
- (3) トラック競技で棄権者がある場合は、その競技者のレーンをあける。
- (4) トラック競技の予選において棄権者が多く、予選を行う必要人数以下（直線種目は9名以下、200m～800mまでは8名以下）になった場合、予選をとりやめその種目の決勝の時刻に決勝を行う。

9 走高跳と棒高跳のバーの上げ方について

- (1) 当日の状況に応じて、審判員の合議により決定する。
- (2) 男女棒高跳びについては、競技者が多数参加することとエントリー記録の差を考慮し、公式練習を2回に分けて行うことがある。

10 用器具について

- (1) 棒高跳用ポール以外の用器具は、競技場備え付けの物を使用する。
- (2) 棒高跳用ポールは、競技場所では検査を受けて合格した物に限り使用することができる。

11 競技場使用上の注意について

- (1) 競技場使用規定を厳守すること。
- (2) スパイクピンは9mm以下を使用すること。ただし、走高跳とやり投については、12mm以下とする。（土用のスパイクピンの使用は認めない。）
- (3) 短距離種目では、フィニッシュ後も他の競技者との接触等の危険を回避するため、自分に割り当てられたレーン（曲走路）を走ること。
- (4) 競技場内にスマートフォン等の通信機器を持ち込まないこと。
- (5) 競技者が使用するマーカーは主催者が用意した物、もしくは、許可を得た物を使用すること。
- (6) 競技場内で出したゴミは各自で持ち帰ること。
- (7) 貴重品は各自で管理すること。

12 表彰について

各種目第3位までの入賞者には賞状を授与するので、本部（第4会議室）まで取りに来ること。

13 その他

- (1) 競技者の負傷・疾病については、応急処置以外の責は負わない。
- (2) 記録証明書を希望する場合は、受付で「記録証明書交付申請書」に必要事項を記入し、交付手数料500円を添えて申し込むこと。
- (3) 本競技会の結果は、大会ホームページの他、マスメディアによって公表されます。結果には、順位・記録の他、選手の氏名、所属、都道府県、学年を含みます。
- (4) 参加料の支払いは、競技出場前に受付で済ませてください。なお、大会期間中に支払いができなかった場合は、早急に下記まで現金書留で送付してください。

〒761-4302 香川県小豆郡小豆島町蒲生甲 1001 番地

香川県立小豆島中央高等学校内 高松市陸上競技協会 三谷 昌輝 宛